

小学校第3学年 社会科 学習指導案

期 日 平成27年11月18日(水) 2校時

場 所 山鹿市立山鹿小学校 3年1組教室

指導者 教諭 宮川 智可

1 単元名 働く人とわたしたちの暮らし

「店で働く人と仕事」 (教育出版3・4年上 p50～p69)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領社会科編「(2) ア地域には生産販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。イ地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」を受けて設定されている。

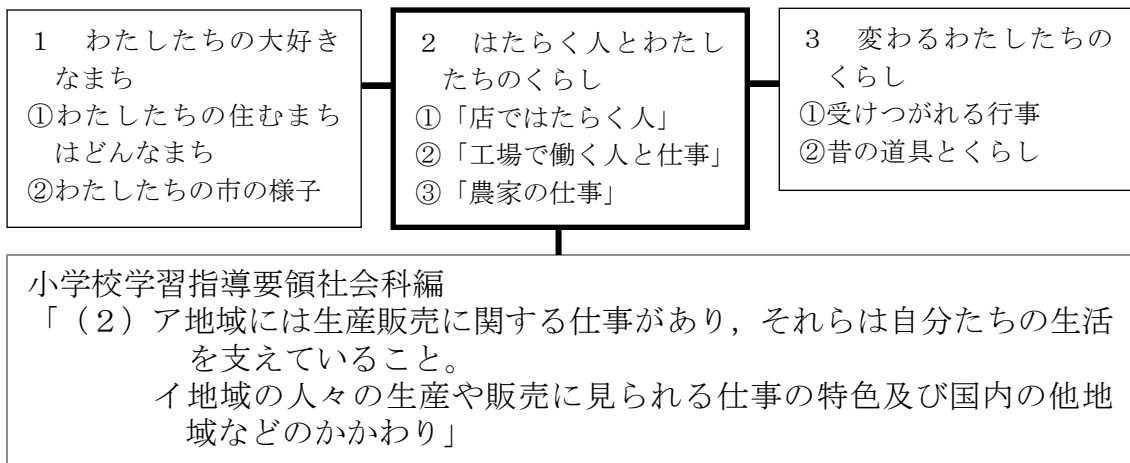
本単元は、児童にとって身近にあるスーパーマーケット(以下:スーパー)やコンビニエンスストア(以下:コンビニ)など教材として取り扱い、そこで働く人々の、販売に関わる工夫や努力について具体的に追究する単元である。

本校の校区には、スーパーもコンビニもあり、家族と一緒に買い物に行く機会も多いと思われる。また、2年生の時には、校区探検でスーパーに行き、店長にインタビューする経験をしている。このように地域にあるスーパーは、児童にとってより身近であり、興味・関心の高いものと言える。

本単元では、地域にあるスーパーへ実際に見学に行く活動を設定することで、商品の品質管理、売り場での並べ方、値段の付け方、宣伝の仕方などの販売について直接調べることができ、販売の仕事に携わる人々の工夫等を深く理解することができる。また、販売者側の工夫と消費者側の工夫を関連させて考えることで、自分の生活との深いかかわりを意識させるとともに、地域の販売に関わる仕事が、自分たちの生活を支えていることを実感し、地域への誇りと愛情を育むことが期待できる単元である。

(2) 系統観

3年



(3) 児童観

児童アンケートによる意識調査より (男子 21 人, 女子 19 人, 計 40 名)

項 目	とても	まあまあ	あまり	思わない
授業のめあて(目標)について, 考えている。	9	26	2	0
難しい問題に出会ふと, 解いてみようというやる気が出る。	23	8	5	1
なぜと思ったことやわからないことは, 先生に聞いたり, 本を読んだりして調べてみる。	14	16	5	2
みんなに自分の考えが分かりやすいように, 発表している。	11	17	9	0
友だちの考えや発表に対して, 質問をしたり意見を言ったりしている。	11	17	9	0
問題を解決するために友だちと協力して調べたり, 考えたりしている。	15	17	4	1
友だちと考えが違ったときには, お互いがわかり合えるように, 話し合うようにしている。	11	20	4	2

【考察】

児童の多くが授業のめあて(目標)について考えていることは, 日頃の授業で意識化されているためであり, めあてが焦点化されていることが分かる。また, 難しい問題に出会ったときや「なぜ」の問いに対する課題解決への意欲や意識が高い児童が多いことも分かった。さらには, 課題解決に向かって友だちと協力して取り組もうとする意識や他者の意見や考えとかかわり合おうとしている意識も高いことが分かる。しかし, 相手に分かりやすく伝えたり, 友だちの意見に対して批判的思考を伴って対話を重ねたりすることに苦手意識を持つ児童もいることが分かった。

豊かなかかわり合いのある言語活動を設定することで, 他者との対話を重ねながら課題解決を図るとともに, 価値観の違う他者と協働しながら自らの生き方について考える活動を取り入れることが必要である。

(4) 指導観

- 問題解決的な学習の展開を軸として単元を構成し, 課題解決のプロセスを身に付けることができるように, 単元を貫く言語活動を設定することで児童が主体的に学習を展開していけるようにする。
- 意志決定を図る「問い」により, 調べて考えたことを出し合い共有しながら互いの価値に出会うことで, 他者を認め合いながら自分の生き方に向き合うことで当事者意識が高まるようにする。
- 互いの考えを練り上げるための伝え合い・学び合う活動(対話)を充実させる。そのためには, 意見の出し合いに終わることがないように, 友だちの考えを聞いて, 自分の考えと比較したり関連させたりして, 意見を「つなげながら」児童が主体的に学習を展開していけるようにする。

○自己評価を行い，学習を振り返る時間を設けることにより，児童一人一人の社会的な思考力・判断力・表現力の深まりといった学習状況をつかむことができるようにする。また，その状況により，支援が必要な児童に対しては個別に対応し適切な支援を行うようにする。

○児童に毎時間，授業の感想の場を設けることで，授業のふり返りと次時への意欲付けにつながるようにする。

【共同研究による協働・協調的な学びを充実する視点から】

【視点１】 学びを引き出す 豊かなかかわり合いのある 言語活動	【視点２】 学びを振り返る 思考過程の可視化と 学びの振り返り	【視点３】 学びを支える 学びのUD化と 効果的なICTの活用
【視点１】 単元を貫く言語活動の設定と共に，意思決定型の「問い」を提示することで，課題解決型の学習過程を図り，協働・協調して学び合う場を設定することで，相手を納得・説得させる説明を主軸とした言語活動を設定する。こうした豊かなかかわり合いから対話が生まれる授業を通して，思考力・判断力・表現力が育成されるようにする。	【視点２】 学習のねらいを明確につかみ，振り返りの視点を教師と児童が共有することができるようにする。また，意志決定型の「問い」に対する事前の個の考えと，多様な他者と協働して学び合いゆさぶられた後の考えとの変容を可視化することができるようにする。これらにより，社会に対する見方や考え方を感じ取ることができるようにする。	【視点３】 相手意識と目的意識を明確にした学習課題をより具体的に設定することで，児童が追究する視点を焦点化し，意欲的に学習に取り組めるようにする。 児童一人一人の学習への参加と理解を保障するために，実感を伴った追究活動が可能な学習シートの工夫を図る。

◇インクルーシブ教育の視点から

【基礎的環境整備】

- ・児童一人一人が学習に見通しが持てるように，１単位時間の学習過程を提示する。
- ・学習シートの配慮をしたり，絵カードを利用したりする。
- ・児童一人一人が安心して授業に臨むことができるように，互いを認め合い，支え合うことができるような人間関係づくりを日常的に図る。

【合理的配慮】

（省略）

3 単元の目標と評価規準(参考:国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」)

- 地域には販売に携わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、これらの仕事に見られる特色、他地域などとのかかわりを理解するとともに、販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとする。
- 地域の販売の仕事の様子から学習問題を見だし、見学・調査したり、資料を活用したりして具体的に調べたことをグラフや白地図、作品などにまとめるとともに、これらの仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えたことを適切に表現する。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
①地域の人々の販売の仕事の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。 ②地域の人々の販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。	①地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②地域の人々の販売の仕事の様子を自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。	①観点にもとづいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 ②調べたことを表などにまとめている。	①地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。 ②地域の人々の販売に見られる仕事の特色や国内の他地域などのかかわりを理解している。

4 指導・評価の計画(12時間取扱い 本時11/12)

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 【3つの視点から】	評価の観点(評価方法) B基準
1 つ か む	1	○買い物調べの結果やスーパーの写真を見て気付いたことを話し合い、学習問題をつくる。	・スーパーのよいところを発表させるとともに、その意味を問いかけて予想させることを通して、学習問題づくりにつなげる。	思考・判断・表現①(学習シート) スーパーの様子をもとに、これまでの生活経験等から問いを持ち学習課題を考えることができる。
	2	○自分たちの問題を整理して、どんな答えになるのか、どうやったら調べられそうかを予想して、学習の計画を立てる。	・学習課題を分類・整理し、結果の予想と解決の見通しを持たせる。 【視点1】 単元を貫く「問い」の設定	思考・判断・表現②(学習シート) それぞれが出した学習課題を分類整理し、単元を貫く「問い」を持つとともに問いに対する予想を考えることができる。
	【単元を貫く「問い」】 お店ではたらく人たちは、多くの人々が買い物をしやすくするために、どのようなふうをしているのだろう。 『お店のひみつを壁新聞にして山鹿のみんなに伝えよう!』			
2 見 通 す	3 4	○秘密を探るための観点を話し合う。 ○インタビューのエチケットなど調べ活動のマナーを知り、取材活動に必要な物を考える。	・追究活動における調べる視点を明確に持たせる。 【視点2】 追究活動時の視点の焦点化	関心・意欲・態度①(学習シート) 消費者がスーパーを利用する理由を明確にしようとし、スーパーマーケットで見学しようとする意欲をもつ。

3 さ ぐ る ・ 深 め る	5	○店内を見学して、商品別に並べたり、見やすくきれいに並べたりするなど、売 るための工夫を調べる。	・調べる視点をもとに店内を探 検し、発見カードに記録（絵や 図、文章）できるようにする。 【視点3】学習シートの工夫	技能・知識・理解①（学習シート） スーパーや様々なお店を見学して、販 売者の売るための工夫を調べている。
	6	○店で働いている人にイン タビューして、買い物客を 集めるための工夫や注意点 について調べる。	・商品の注文や陳列をしたり、商品を 加工・包装したりするなど、働く人々 の仕事の内容を具体的に調べる。 【視点3】学習シートの工夫	技能・知識・理解②（学習シート） スーパーで働く人にインタビューし たり、働く様子を観察したりしている。
	7	○新鮮で安心して商品を提供 するための工夫に気付く とともに、品物は国内外から 運ばれてくることを調べる。	・看板やシールなどの写真を活用して 商品の産地を明らかにする。 【視点3】学習シートの工夫	技能・知識・理解③（学習シート） スーパーでは、商品を国内外の産地か ら仕入れていることを理解している。
	8	○お客さんにインタビュー して、買い物をするときの 願いや思いについて調べる。	・リサイクルコーナーやお年寄りや障 がいのある人専用の駐車場などにつ いて消費者の視点から捉えるように する。 【視点3】学習シートの工夫	技能・知識・理解④（学習シート） スーパーでは、地域や地域に住む人々 のためにさまざまなことに取り組んで いることを理解している。
4 ま と め る	9 10	○お店探検で調べた内容を視点 ごとにまとめ、山鹿の人たちに伝 えたい秘密を壁新聞に表す。	・見学で発見した販売の工夫を分類さ せて、考えを整理できるようにする。 【視点3】 児童一人一人が責任を持って取り組 める壁新聞づくりの工夫	技能・知識・理解⑤（学習シート） 地域には、それぞれの特色を生かした 様々な店があり、地域の人々の生活を支 えていることを理解する。
5 広 げ る ・ い か す	11	○調べたことを振り返りながら、 学習問題についてまとめ、消費者 と販売に携わる人々の関連を考 える。	・インタビューを通して分かったこと をもとに、お客さんの願いと店の工夫 について話し合いながら結び付きを 考えさせる。	思考・判断・表現③（学習シート） 今までの学習を振り返りながらスー パーで働く人々の工夫と消費者の願い との関連について考えることができる。
	12	○販売の工夫を捉えたうえ で、消費者として自分のこ れからの生き方を見つめる 。	・今までの学習を想起し、「働く人の 工夫」と「お客さんの願い」との関連 を明らかにしながら、消費者としての これからの生き方について見つめる ことができるようにする。 【視点1】 意志決定型の「問い」の工夫	思考・判断・表現④（学習シート） 販売者の工夫と消費者の願い とを関連付けながら、消費者とし てのこれからの生き方について 他者と協働しながら考えること ができる。

6 本時の展開

(1) 目標 今までの学習を想起し、「働く人の工夫」と「お客さんの願い」との関連を明らかにしながら、消費者としてのこれからの生き方（買い物の仕方）について考えることができる。

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 5分	1 これまでの学習を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。	○販売者の工夫を意識ながら、前時までのふり返しを行う。 ○お年より家族、4～5人家族、親戚10人食事会、地域の祭りでの焼きそばづくりを4場面提示し、買い物への当事者意識を高める。	電子黒板
	今までの学習をふりかえりながら、買い物の仕方について考えよう。		
展開 37分	2 野菜を買いに行く場面を想定した問いに向き合う。 おうちの人の手伝いで買い物に行きます。4つの場面では、あなたはどのキャベツを選んで買いますか。 (1) 自分の考えに理由を付けて考える。 (2) グループの友だちと考えを交流する。 言語活動（設定の意図） 意志決定型の問いにより互いの価値と向き合い、他者と交流することを通して、社会で生きていく自分として当事者意識を高めるようにする。 3 友だちと考えを交流したことをもとに、自分の家族の買い物を想定して考えを整理する。 4 販売者への思い、地域への思い、家族への思いを込めながら互いの考えを全体で交流する。	能動型学習（ポイント） ○これまでの追究活動により習得した販売者の工夫や学習経験・生活経験等をもとに、野菜を買う場面での意志決定を問う学習課題をもとに、互いの価値を明確にしながら、協働して自らの生き方に迫ることができるようにする。 徹底指導（ポイント） ○自分が価値判断したことへの理由付けを明確にさせる。根拠となった資料・生活経験等を相手に明確に示しながら伝えるようにする。 ◆社会的な思考・判断・表現（学習シート） B基準 買い物の場面において、消費者の視点からこれからの生き方（買い物の仕方）について、理由を付けながら考えている。 A基準 B基準に加え、追究してきた販売者側の工夫と関連付けて考えている。 ＜B基準に達していない児童への手立て＞ 個別に言葉掛けを行い、学習経験や生活経験を引き出させながら、考えることができるようにする。 ○全体での交流により表現することで、社会への参画意識がより一層高まるようにする。	学習シート 絵カード
終末 3分	5 教師によるまとめと本時の振り返りを行う。	○教師によるまとめをする。 ○山小フェスタで学習したことを保護者に伝えることを知らせ、児童の次なる活動への意欲を抱かせる。	学習シート

